


The background features a complex geometric pattern of overlapping triangles and squares in various shades of blue, ranging from light cyan to deep navy. The pattern is more dense and vibrant on the right side of the page, fading into a lighter, less detailed pattern on the left.

株式会社テラプローブ 決算説明資料

2015年3月期第1四半期

The background features a complex, abstract pattern of overlapping blue and cyan triangles and squares, creating a mosaic-like effect. The colors transition from deep blue on the left to lighter cyan and white on the right. A semi-transparent light blue horizontal band is positioned across the middle of the page, serving as a backdrop for the main title.

2015年3月期第1四半期 業績説明

今回の発表の概要

メモリ事業

- 主要顧客の生産数量が減少したため、受託数量が減少

システムLSI事業

- テスト受託は台湾を中心に前四半期から緩やかに増加
- WLP・BUMP受託の数量は低調に推移



前四半期に比べ売上高が減少し、営業利益も減少

1Q/FY2014 実績

(億円)

		前年同期比較			前四半期比較		
		1Q/FY2013	1Q/FY2014	YoY増減	4Q/FY2013	1Q/FY2014	QoQ増減
	メモリ	36.9	35.2	-1.7	38.4	35.2	-3.2
	システムLSI	14.3	14.8	0.5	13.7	14.8	1.1
	その他	-0.3	0.3	0.6	0.2	0.3	0.1
売上高		50.9	50.3	-0.6	52.3	50.3	-2.0
	メモリ	2.1	6.0	3.9	8.6	6.0	-2.6
	システムLSI	-1.0	-2.8	-1.8	-3.0	-2.8	0.2
	その他	-3.2	-2.9	0.3	-3.0	-2.9	0.1
営業利益		-2.1	0.3	2.4	2.6	0.3	-2.3
営業利益率		-4%	1%	—	5%	1%	—
当期純利益		-2.0	-1.0	1.0	-2.2	-1.0	1.2
当期純利益率		-4%	-2%	—	-4%	-2%	—

1Q/FY2014実績 増減分析(前年比)

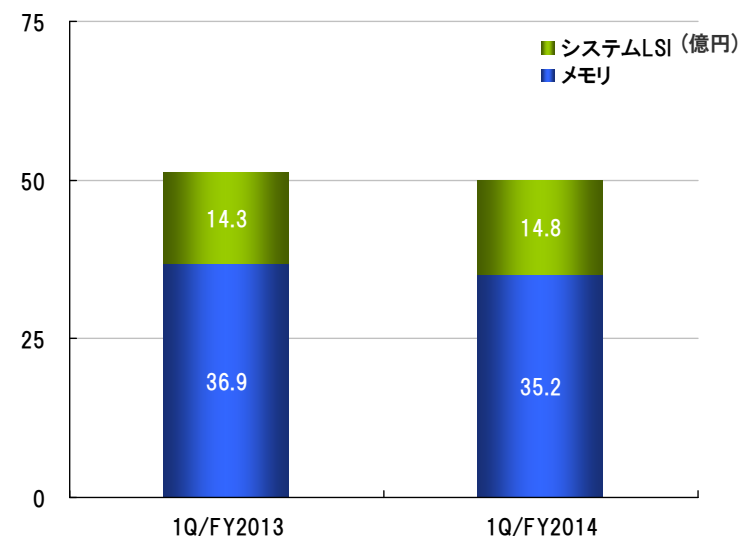
1Q/FY2014 売上高実績(YoY)

<メモリ事業>

- ・受託数量の減少により売上高が減少

<システムLSI事業>

- ・WLP・BUMP受託は低迷したものの、テスト受託は台湾を中心に増加し、売上高が微増



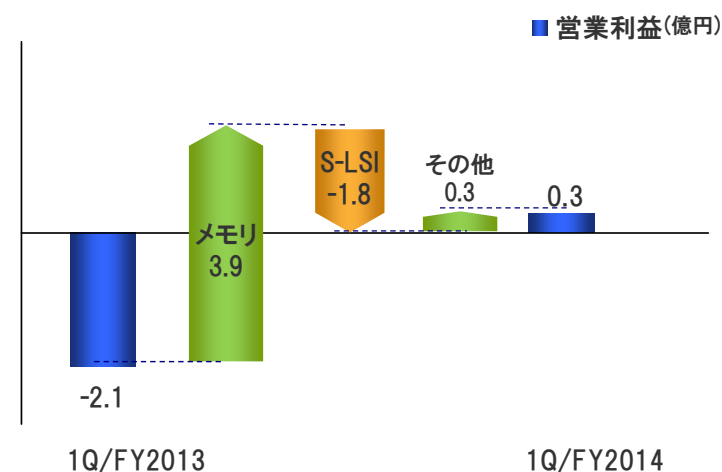
1Q/FY2014 営業利益実績(YoY)

<メモリ事業>

- ・売上高は減少したが、減価償却費の減少や修繕費の抑制などにより増益

<システムLSI事業>

- ・台湾を中心にテスト受託は緩やかに増加したものの、製品ミックスの変化などにより減益



1Q/FY2014実績 増減分析(前四半期比)

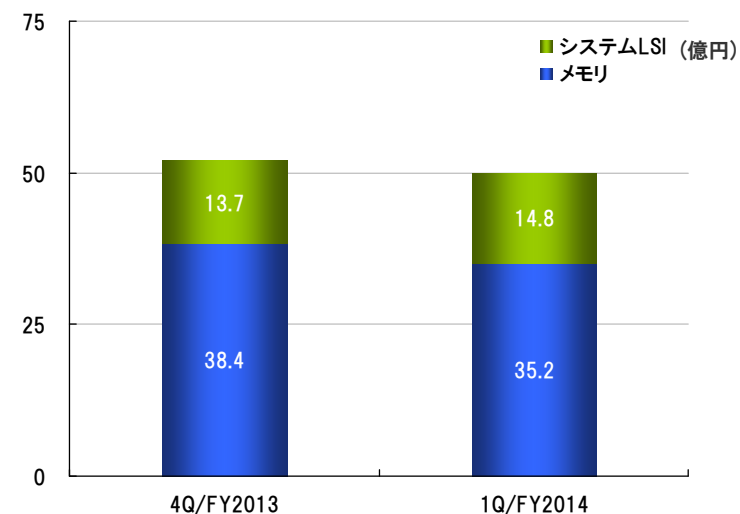
1Q/FY2014 売上高実績(QoQ)

<メモリ事業>

- ・国内主要顧客の生産数量が一時的に減少したことにより売上高が減少

<システムLSI事業>

- ・WLP・BUMP受託が低調だが、テスト受託は台湾を中心に増加したため、売上高が増加



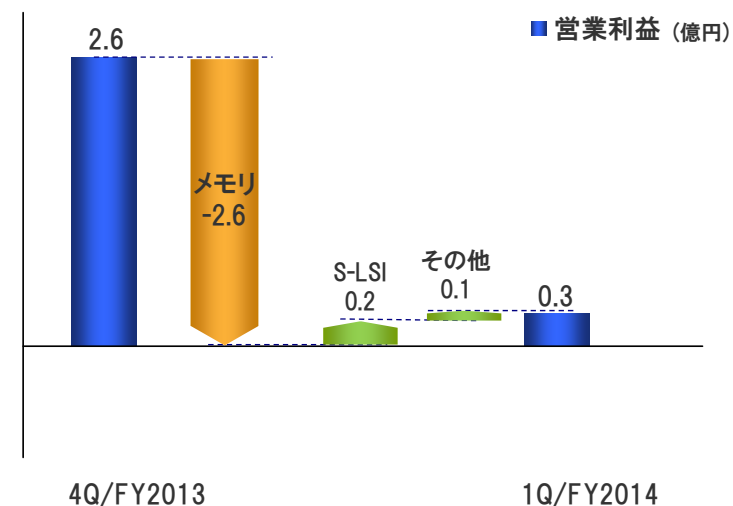
1Q/FY2014 営業利益実績(QoQ)

<メモリ事業>

- ・売上高の減少に伴い減益

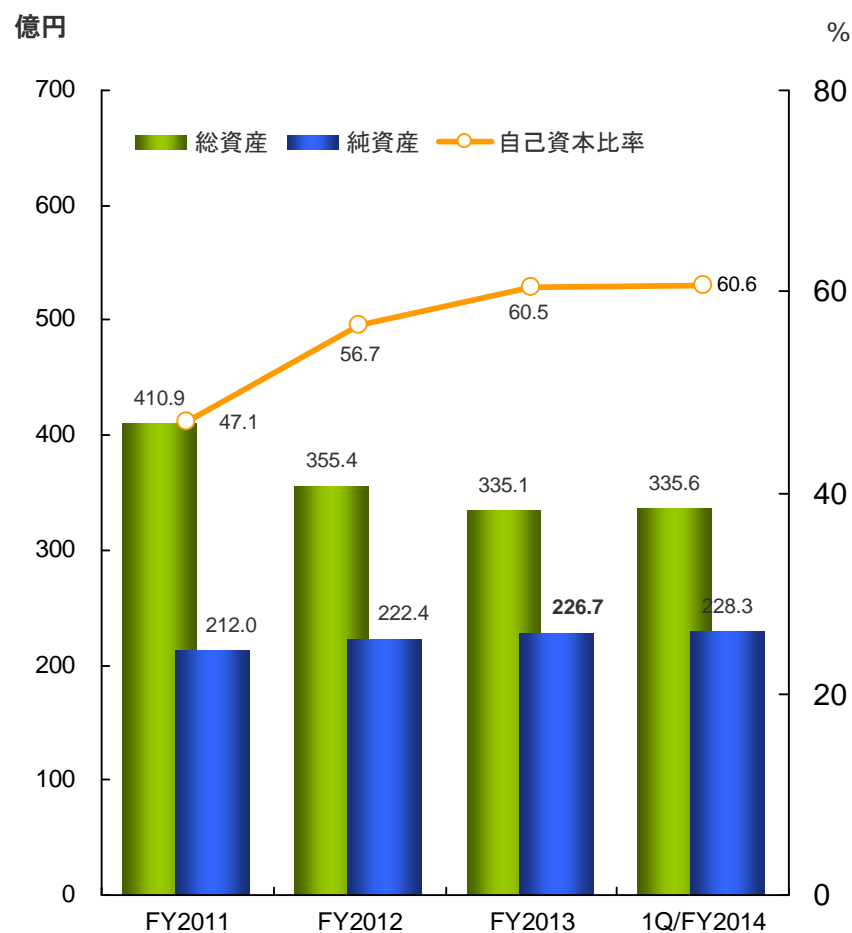
<システムLSI事業>

- ・売上高の増加に伴い、損益が若干改善

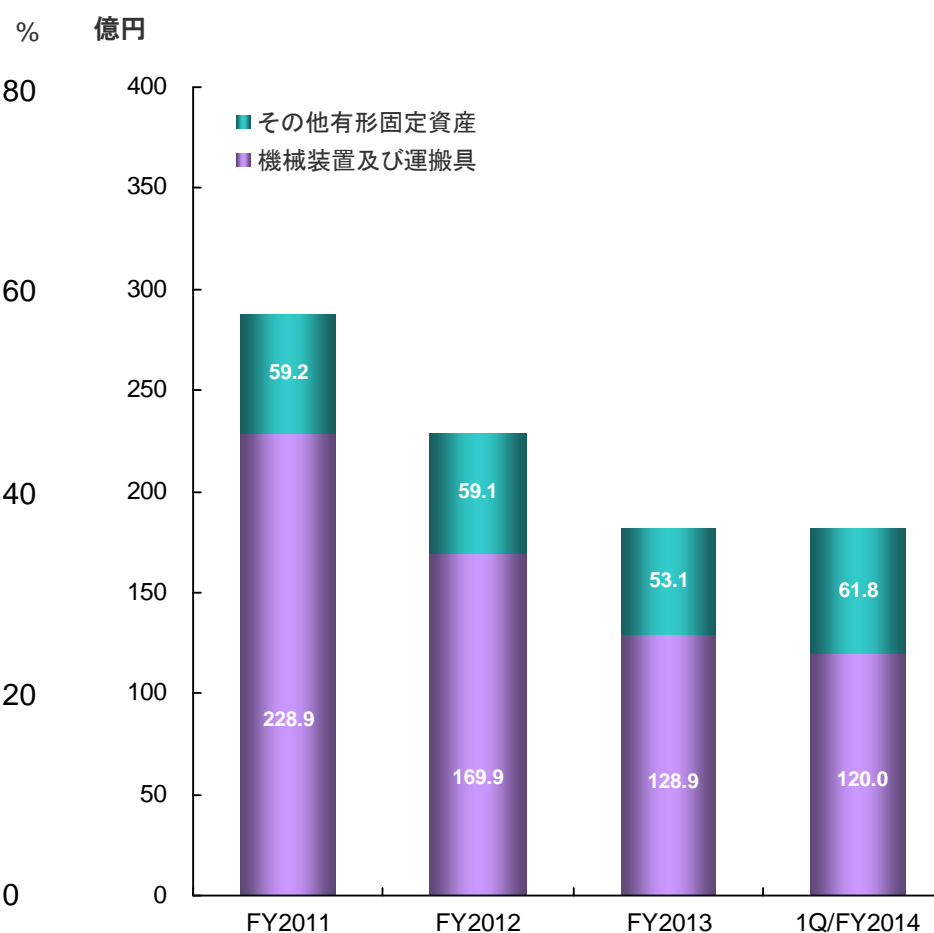


財務状況の推移①

総資産・純資産・自己資本比率



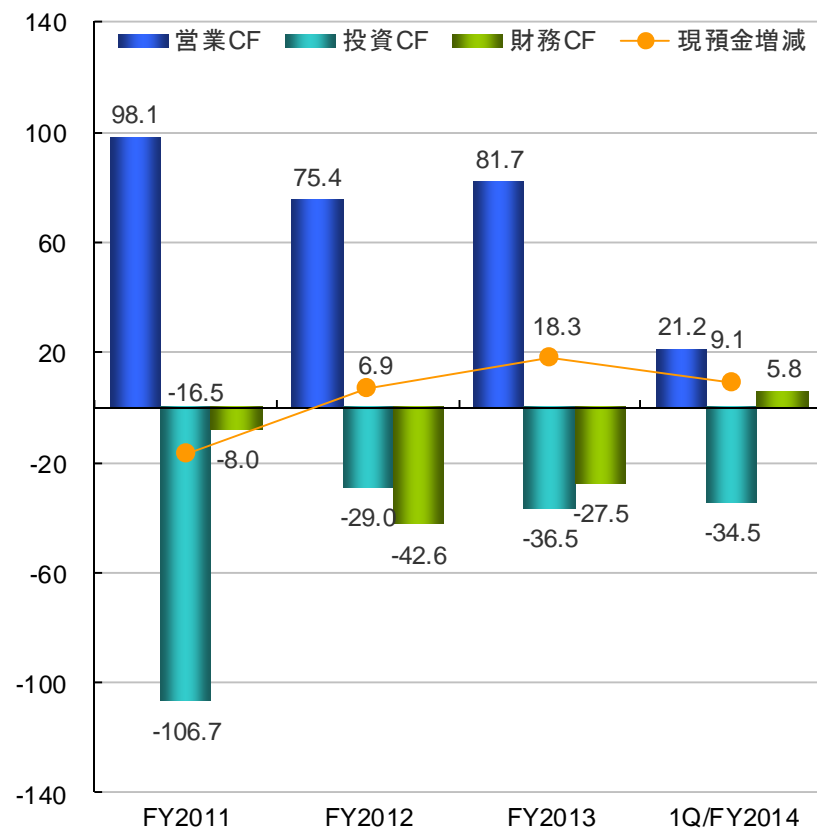
有形固定資産の推移



財務状況の推移②

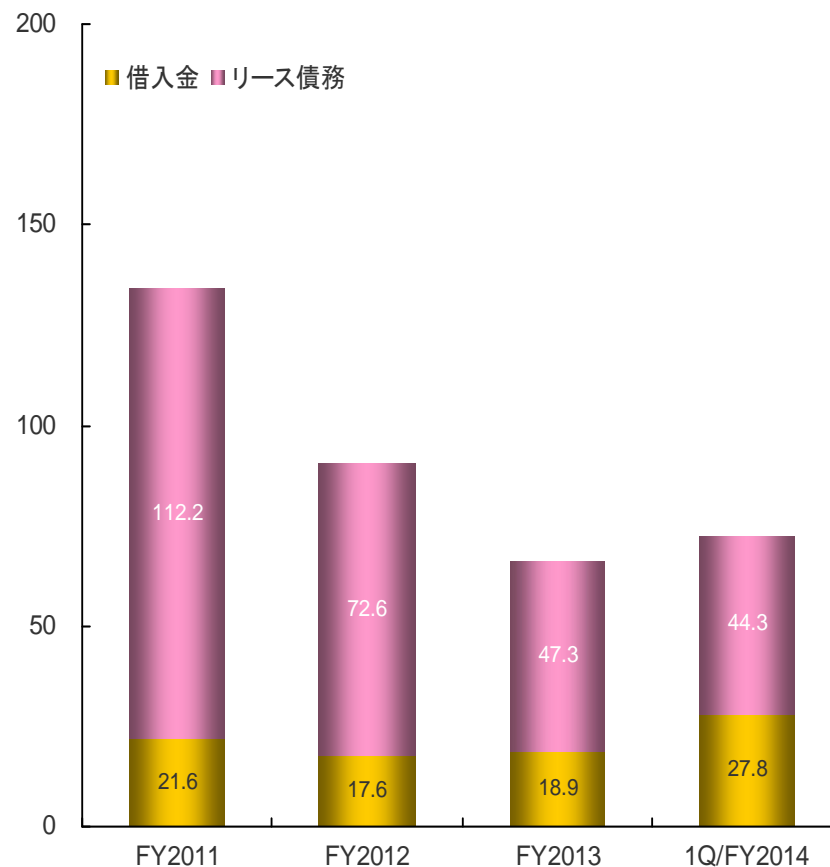
キャッシュフロー

億円



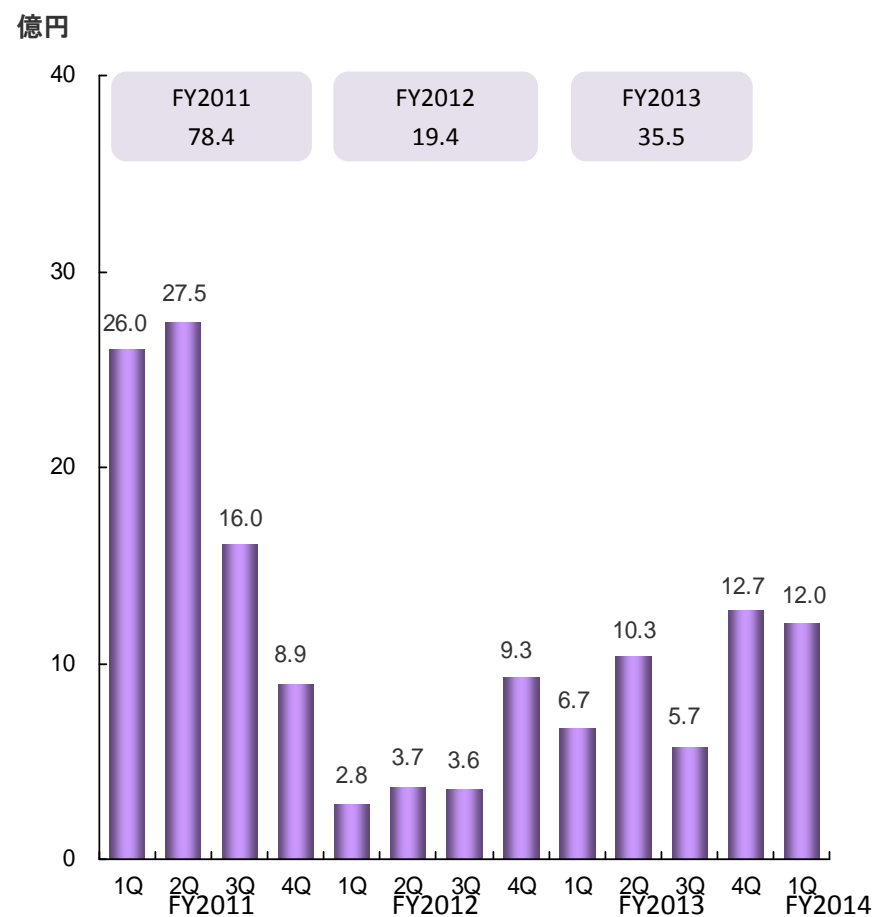
借入金・リース債務残高

億円

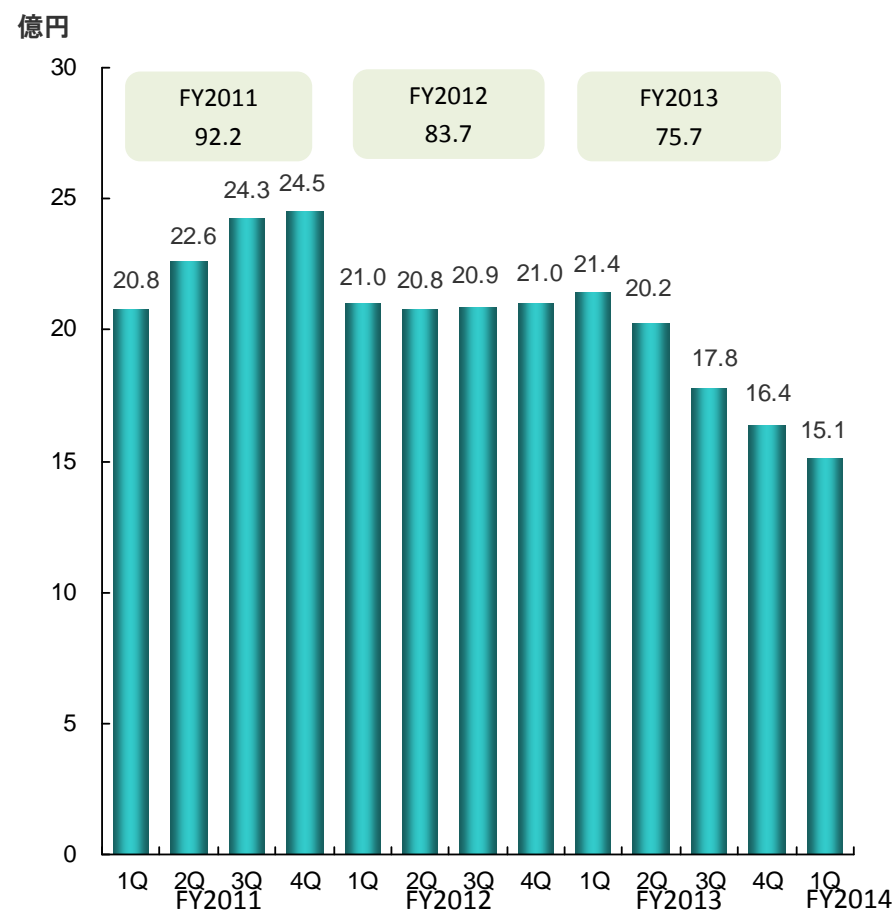


設備投資及び減価償却

設備投資額推移



減価償却費推移




1Q/FY2014のトピックス

新技術への取り組み

- 第17回組込みシステム開発技術展に出展
NEC製顔検出／顔照合エンジン「NeoFace」※のアルゴリズムを採用し、ARM Core※等に対応した製品、「TeraFaces」を発表
※「NeoFace」は、日本電気株式会社の登録商標で、ARM はARM Limited の登録商標または商標です
- 2014年7月22日に「TeraFaces[評価版]」の販売開始
- 株式会社日本マイクロニクスとの共同開発によるモバイル用メモリ向けの効果的なテスト方法の確立

ISO/TS16949認証取得

- TPWに続き、九州事業所においてISO/TS16949(自動車産業向け品質マネジメントシステム)の認証を取得



2015年3月期第2四半期 業績予想

2Q/FY2014業績予想の概要

メモリ事業

- 主要顧客の生産数量の回復により、受託増の見込み

システムLSI事業

- テスト受託では国内及び台湾で受託増の見込み
- WLP・BUMPも緩やかに回復見込み

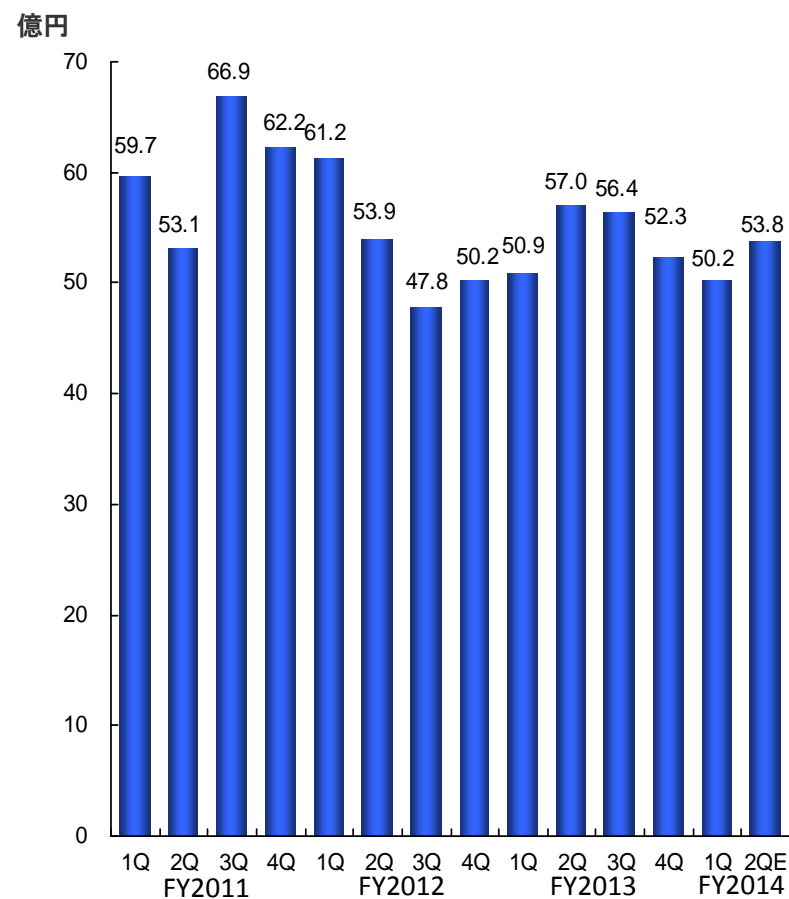


前四半期に比べ、売上高、営業利益とも増加の見込み

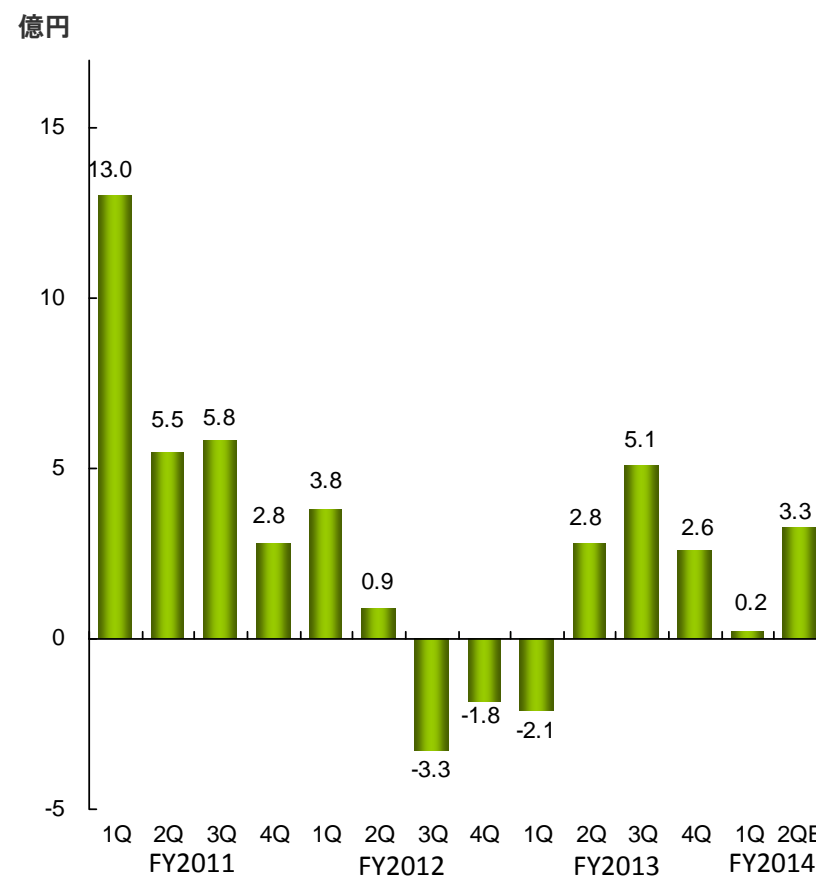
※青梅事業所の構造改革の進展によっては、追加費用発生の可能性有り

売上高及び営業利益推移

売上高推移



営業利益推移



当社グループが属する半導体業界は市場環境が短期間に変化するという特徴があり、1年間の業績予想を作成することが困難であることから、連結業績予想は翌四半期のみを開示することといたします。

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、2014年7月29日において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が作成する「平成27年3月期第1四半期決算短信」をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ
コーポレートプランニング・IR部門
TEL (045)476-5711
URL <http://www.teraprobe.com>